

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和5年5月31日

施設名	港区立介護予防総合センター	施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課
所在地	港区芝浦1-16-1	指定管理者	セントラルスポーツ株式会社

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
高齢者人口が増加する中で、介護予防の必要性を発信するとともに、介護予防の効果の「見える化」を検討しており成果が期待されます。		介護予防の必要性を発信するため、PDCAサイクルに沿った効果・分析を行いました。分析結果については、推進ミーティング等で各関係機関にフィードバックしました。また、介護予防に関する情報発信として、区民向けに、港区の介護予防事業とその効果や、事業実施施設と高齢者相談センターの紹介を掲載したちらしを作成し、新聞折り込みを実施しました。	令和5年度も引き続き、PDCAサイクルに沿って効果・分析を行います。介護予防に関する情報発信については、年に4回発行している機関紙を町会・自治会や各関係機関に配布します。また、ホームページを活用し、区民公開講座や専門職の講話等を発信します。	効果的な介護予防に関する情報や、効果を発信することで、より多くの区民に介護予防に取り組んでいただけるよう促します。
介護予防拠点としての役割を果たすため、関係機関・地域団体との連携を深める余地が認められます。		関係機関・地域団体との連携を深めるため、地域の活動支援を行いました。以前から実施していた専門職派遣について、新たに「専門職派遣依頼書」を作成することで依頼方法をわかりやすく周知しました。その結果、各関係機関、自主活動グループ等から各関係機関や自主活動グループ等から多くの派遣依頼があり、出前講座や運動指導を行うことができました。	令和5年度は、区の施策「保健事業と介護予防の一体的実施」開始に伴い、関係機関と連携した新たなプログラムを実施します。地域との連携としては、引き続き各関係機関と連携しながら、専門職派遣を行います。地域の活動に積極的に関与することで、広く介護予防を普及するとともに、未だ事業参加のない新たな高齢者を発見し、社会参加と健康維持を継続的に支援します。	多様な関係機関や地域団体から専門職の派遣依頼があったことを確認しています。これからも様々な場所で専門職が活躍できるよう取り組みます。
さらなる組織力の向上に向けて、職員の学びを共有する仕組みづくりが期待されます。		職員の研修については、eラーニングおよび区のマニュアルに沿って実施しました。また、新人スタッフ研修の内容については、既存スタッフの誰もが閲覧できるようにマニュアルを整備し、受付、指導、共通事項に分けて実施しました。そして、新たに学びやすさを追求し、動画による研修も実施しました。その他の情報については、閲覧方式で情報の提供を実施しました。	令和5年度は、職員への情報共有として、紙媒体のお知らせ閲覧方法から、新たにチャットワークによる閲覧方法に変更します。これにより、より多くの情報を速やかに全スタッフに伝達します。また、動画による研修を適宜実施し、さらなる組織力の向上に向けて、職員の学びを共有する仕組みづくりを行います。	受講した研修内容について、独自のテストを作成しチェックしていることを確認しました。これからも区民サービス向上のため、様々な研修を受講し、内容を共有するよう促します。